

# 校長室だより



令和6年1月9日

No.26

あけましておめでとうございます。令和6年の幕開けです。しかし、まさか年明けからあんな大きな地震が起きるとは思いもよらず、大変なスタートとなってしまいました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げたいと思います。

冬休みが終わり、いよいよきょうから学校も始まりました。子どもたちが初日に笑顔で登校してきてくれる姿にはいつも元気づけられる思いがします。年度末の卒業、修了までみんな元気に過ごしてほしいと思います。

さて、今年は辰年です。十干十二支で言うと甲辰（きのえたつ）ということになるようです。辰は十二支の中で唯一想像上の動物ですね。神様が動物たちに競走させて十二番目までを選んで、猫はネズミに騙されて十二支に選ばれなかったので、今でも恨みに思ってネズミを見たら襲い掛かる…という十二支誕生の話を子どもの頃、おばあちゃんにしてもらった覚えがあります。でも、そんなレースをしたら辰＝龍なんて絶対1位になっているはずなんですが…。それはさておき、龍は古代中国の神話で神獣とされており、寺社の天井絵や柱に彫られたりしている、皆さんご存知のあの姿はいかにも勇壮で勢いがありますね。そんな姿になぞらえて、辰年は上り龍のごとく、ぐんぐんいい方向に流れていく…というポジティブな見方もある一方で、龍の動きから万物が動くとして、変化が大きく波乱の年という見方もあるようです。戊辰戦争や日露戦争があったのも辰年だったそうです。まさか、だから北陸や羽田で暴れた結果…ということではないことを祈りますが、さて今年は、いい方に向くか、それとも、変化の中で慌てふためくか…どちらでしょうか？

神社やお寺を参拝することが好きな私としては、辰年になったら龍にまつわる神社やお寺を巡る旅に行きたいななどと思っていましたが、いざ、その年になると、やっぱり貧乏暇なしで、なかなか計画を立てることすらできません。しばらくお仕事を放り出して…なんて、滅相もない。「したいな」だけで楽しんでおきましょう。旅行と言えば、久しぶりにコロナによる制限のない年末、年始で、かなり多くの人が帰省をはじめ、国内外への旅行を楽しんだようです。ここ数年はなかなか動きづらい状況や風潮もありましたが、今年は新幹線もコロナ前の乗車率に戻ったり、一部はそれ以上になったりしたようです。いつの間にか社会全体が「とりあえず大丈夫かな」の心境になっているように感じます。ただ、コロナ、インフルエンザ、感染性胃腸炎…いろいろ気を配って、これで十分ということもありません。学校でもまた引き続き気を付けていきたいと思います。ご家庭での健康観察等もよろしく願いいたします。

で、私も7回目のコロナワクチン、インフルエンザ、带状疱疹など昨年中に予防接種をして備えていましたが、なんと、年末の大掃除中に膝を痛めてしまい歩くのもやっと…犬の散歩もままならない状態になってしまいました。この年になると体のあちこちにいろいろな不都合がでてきますが、また入院とか長期に学校を休むとかにならないように気を付けたいものです。（まだ膝が痛い…）

龍の神社と言われる田無神社にて

